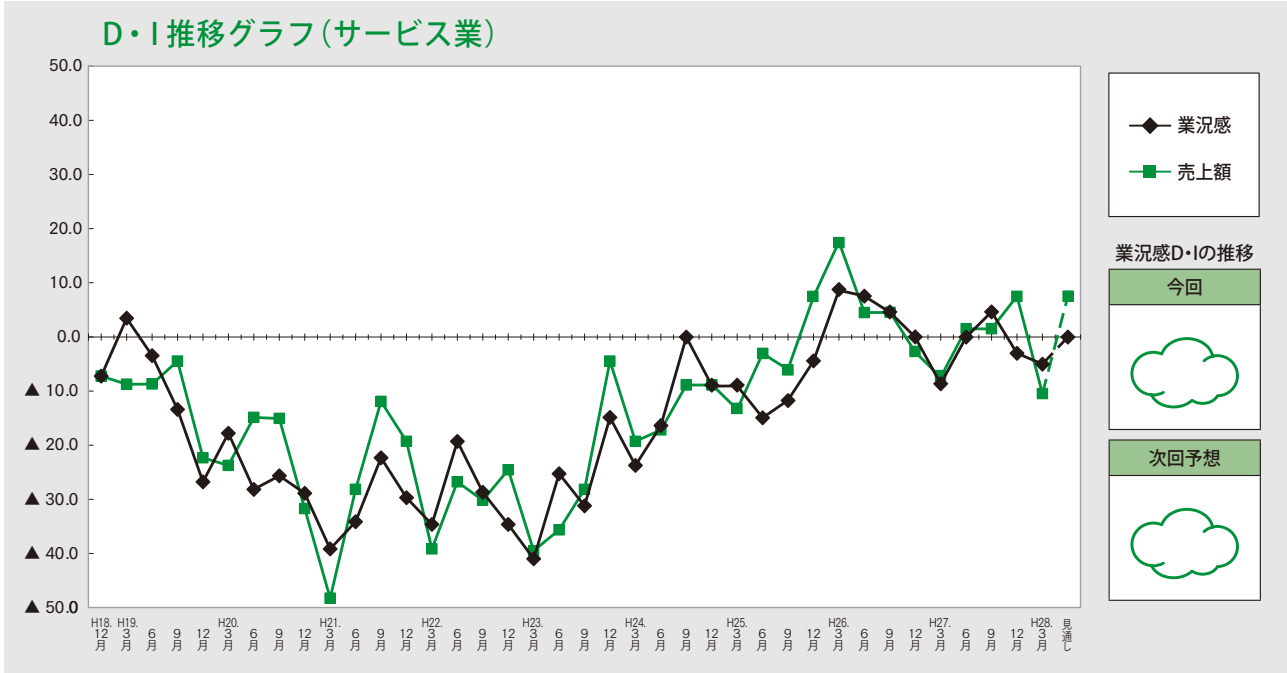


# サービス業

Service industry

# 業況感が2期連続で悪化



## 1 今期 (平成28年1 - 3月期)

今期の業況感は▲5.9 (前期▲3.0)となり、前期比で2.9ポイント低下。2期連続の悪化となった。

料金価格・材料価格のD Iは改善しており、特に材料価格については、10ポイント超の大きな改善を見せているが、売上額D Iも前期比17.7ポイントの低下と大きく悪化しており、結果として収益D Iも悪化している。

## 2 来期の予想 (平成28年4 - 6月期)

来期の業況感は今期から5.9ポイント改善し、D I値0.0まで上昇する予想となっている。

今期改善した料金価格・材料価格D Iについては、やや悪化しているものの、その他の項目についても全体的に改善傾向が期待されている。また、売上額・収益D Iも上昇見込みであり、サービス業全体として景気回復が期待されている。

## DI値の推移 (過去1年と3ヶ月後の予想)

	H27. 3月期	H27. 6月期	H27. 9月期	H27. 12月期	H28. 3月期	来期見込み
業況感	▲ 8.8	0.0	4.4	▲ 3.0	▲ 5.9	0.0
売上額	▲ 7.4	1.4	1.5	7.4	▲ 10.3	7.5
収益	▲ 13.2	▲ 4.3	0.0	2.9	▲ 8.8	4.4
料金価格	11.8	4.3	5.9	5.9	8.8	4.4
材料価格	▲ 26.5	▲ 13.0	▲ 13.2	▲ 19.1	▲ 7.4	▲ 10.3
在庫	-	-	-	-	-	-
資金繰り	▲ 7.4	▲ 5.9	▲ 5.9	▲ 5.9	▲ 10.3	▲ 10.3
人手	0.0	13.0	▲ 2.9	10.3	10.3	8.8
設備状況	9.0	14.5	14.7	5.9	7.4	10.4

## 業況調査メモ

今年4月から電力小売りの全面自由化がスタートした。鹿児島県内で3月初めの段階で小売電気事業者ライセンスを取得しているのは、南和が親会社のナンワエナジー(鹿児島市)、大和電機のネクストパワーやまと(同)、南国殖産の九州エナジー(同)、日本ガスのエナジードリーム(同)のほか、エヌパワー南九州(同)、鹿児島電力(同)、太陽ガス(日置市)、ひおき地域エネルギー(同)の8社。13年から新電力(特定規模電気事業者)として九州内の法人約1300施設で電力供給するナンワエナジーが一般向けでも先行しているが、今後は各社間の料金設定やサービスで知恵比べが激しくなりそうだ。